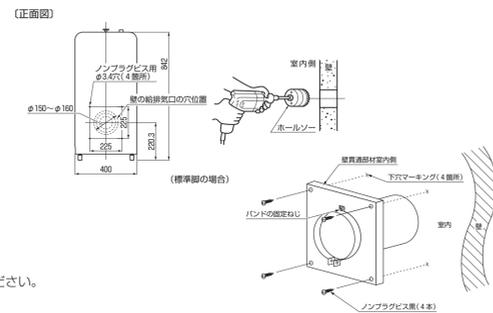


3 給排気管およびトップ(別売)の取付け(つづき)

壁貫通部材の取付け 全ての標準部材に共通

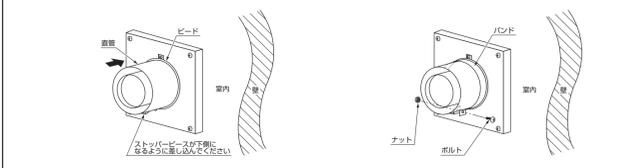
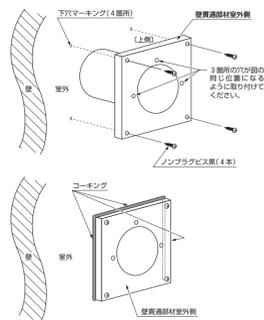
- お願い**
- 壁内の鉄筋・鉄骨・電気配線・水道の配管を充分考慮してください。
 - 標準セットの対応壁厚は110~200mmです。さらに別売部材を使用することで壁の厚さは450mmまで対応可能です。110mm未満、または200mm以上450mm以下の場合は当社へご相談ください。
 - 取付けの際はケガをしないように手袋をはめておこなってください。

- ① 設置場所を決めてください。
- ② 給排気管を通す壁の穴位置を決めてください。
※標準給排気トップ(直抜き)セットおよび標準室外立上セットで機器背面から直接背面側の壁穴を通す場合は、本紙工事説明書の型紙を使用して穴位置を決めてください。
- ③ 壁に壁貫通部材取付用の穴(φ150~φ160)を水平にあけてください。
- ④ (a)壁穴に壁貫通部材室内側を差し込み、壁穴の中心と合うように、また壁取付部材が水平になるように位置を合わせて固定ねじ位置4箇所にてマーキングしてください。
(b)壁貫通部材室内側を取り出し、マーキングした位置に下穴(穴径φ3.4mm)をあけてください。(4箇所)
※アンカープラグを使用する場合は、プラグに見合う穴をあけてください。
(c)バンドの固定ねじが上側になるように壁貫通部材室内側を壁穴に差し込み、セットに付属のノンプラグビス黒4本で壁に固定してください。

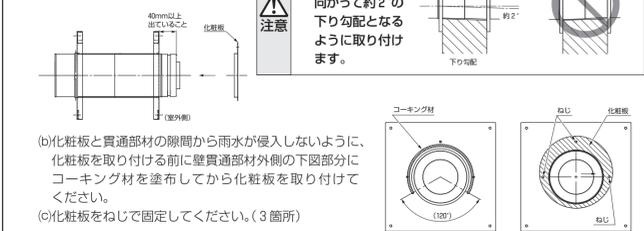


壁貫通部材の取付け 標準給排気トップ(直抜き)セットの場合

- ⑤ 室外側の取付け(標準取付の場合)
(a)室外側から壁貫通部材室外側を差し込み、スリーブが壁貫通部材室内側のスリーブと重なるようににはめ込み、壁取付部材が水平となるようにして位置を合わせて固定ねじ位置4箇所にてマーキングしてください。
(b)壁貫通部材室外側を取り出し、マーキングした位置に下穴をあけてください(4箇所)。
※アンカープラグを使用する場合は、プラグに見合う穴をあけてください。
※穴あけ部は雨水が侵入しないように処置してください。
(c)壁貫通部材室外側を室外側から壁穴に差し込み、セットに付属のノンプラグビス黒4本などで壁に固定してください。
※中心部大径穴周辺の3箇所の穴が右図の位置になるように取り付けてください。
- ⑥ 壁貫通部材のコーキング処理
室外側に取り付けた壁貫通部材室外側は雨水が侵入しないように壁貫通部材室外側の壁取付部材の上部・左右側面の3箇所をシリコン等でコーキングしてください。
- ⑦ 壁貫通部への直管取付
(a)壁貫通部材室内側に取り付けているバンドのボルトとナットを外します。
(b)セットに付属の直管を、室内側から壁貫通部材の中心穴に通し、直管の付け根部ビードが当たる位置まで差し込みます。
(c)直管のビード外側を保持するように取り付けてボルトで固定します。



- ⑧ 化粧板の取付け
(a)化粧板を室外側から直管外周に差し込みます。
40mm以上伸びることを確認してください。
注意 ●給排気管の取り付けは室外側に向かって約2°の下り勾配となるように取り付けます。



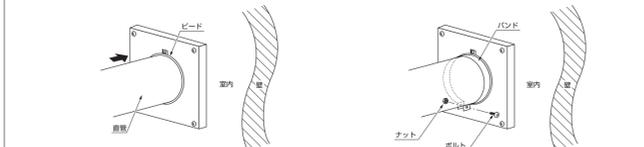
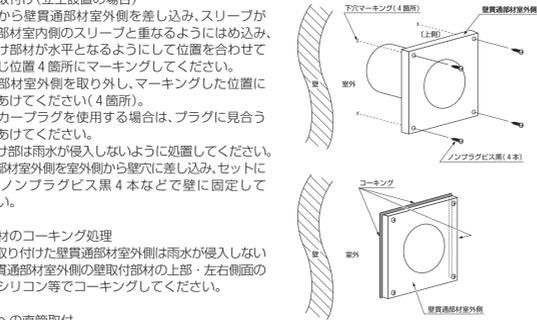
- ⑨ 直管と化粧板のコーキング処理
取り付け直管と化粧板の隙間は雨水が侵入しないようにシリコン等でコーキングしてください。

給排気用トップの取付け 標準給排気トップ(直抜き)セットの場合

- ⑩ 直抜き用トップの取付け
直抜き用トップを差し込んでください。

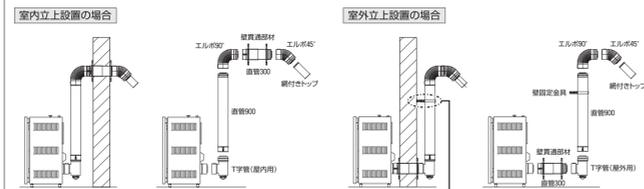
壁貫通部材の取付け 標準室内立上セット・標準室外立上セットの場合

- ⑤ 室外側の取付け(立上設置の場合)
(a)室外側から壁貫通部材室外側を差し込み、スリーブが壁貫通部材室内側のスリーブと重なるようににはめ込み、壁取付部材が水平となるようにして位置を合わせて固定ねじ位置4箇所にてマーキングしてください。
(b)壁貫通部材室外側を取り出し、マーキングした位置に下穴をあけてください(4箇所)。
※アンカープラグを使用する場合は、プラグに見合う穴をあけてください。
※穴あけ部は雨水が侵入しないように処置してください。
(c)壁貫通部材室外側を室外側から壁穴に差し込み、セットに付属のノンプラグビス黒4本などで壁に固定してください。
- ⑥ 壁貫通部材のコーキング処理
室外側に取り付けた壁貫通部材室外側は雨水が侵入しないように壁貫通部材室外側の壁取付部材の上部・左右側面の3箇所をシリコン等でコーキングしてください。
- ⑦ 壁貫通部への直管取付
(a)壁貫通部材室内側に取り付けているバンドのボルトとナットを外します。
(b)セットに付属の直管を、室内側から壁貫通部材の中心穴に通し、直管の付け根部ビードが当たる位置まで差し込みます。
(c)直管のビード外側を保持するように取り付けてボルトで固定します。



給排気管とトップの取付け 標準室内立上セット・標準室外立上セットの場合

- ⑧ 給排気管とトップの取付け
立上設置の場合は、下図のようにセット内の各部材を取り付けてください。
※各配管接続部は抜け止め機構が有効になる位置まで確実に差し込んでください。
注意 ●給排気管の取り付けは室外側に向かって約2°の下り勾配となるように取り付けます。



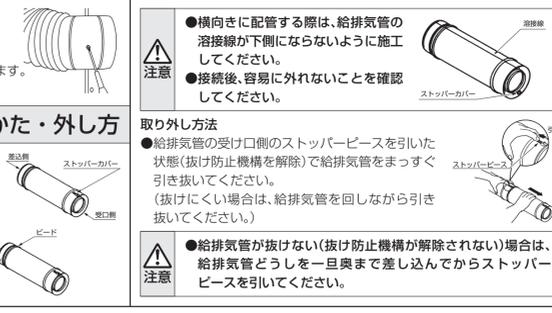
- 固定用金具**
- 標準室外立上セット内の壁固定金具構成部品
- 壁固定金具の長さ調節
- 距離が短い | 距離が長い
- 壁固定金具の取付けは給排気管がほぼ垂直となるようにしっかりと壁面にノンプラグビス2本で固定してください。また、雨水が侵入しないように処置してください。
 - 壁固定金具の取付けは、壁から給排気管までの距離に応じて、上記の方法でおこなってください。調整後はゆるみがないようにしっかりと締め付けてください。

- ⑨ 直管と壁貫通部材のコーキング処理
取り付け直管と壁貫通部材室外側の隙間は雨水が侵入しないようにシリコン等でコーキングしてください。

3 給排気管およびトップ(別売)の取付け(つづき)

配管接続部の固定

- 機器本体と接続配管(1箇所)は配管が外れないようにねじで固定してください。
- 本体と接続管
1本タッピンねじ(市販品)を打ち込んで管と固定します。管端面よりおよそ10mmの位置に打ち込んでください。



接続配管(二重管)の取り付けかた・外し方

- 接続方法**
- ① 給排気管の差込側、受口側をよく確認してください。
 - ② 給排気管の差込側、受口側端面が差込側ビードにあたるまでしっかりと差し込んでください。(差し込むだけで抜け防止機構が働きます。)

……接続配管(二重管)の取り付けかた・外し方

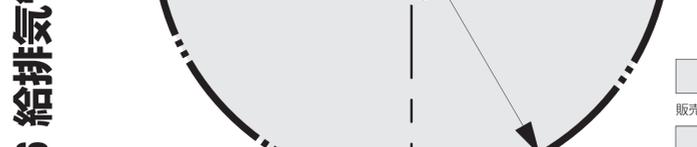
- 取り付け外し方**
- 給排気管の受け口側のストッパーピースを引いた状態(抜け防止機構を解除)で給排気管をまっすぐ引き抜いてください。(抜けにくい場合は、給排気管を回しながら引き抜いてください。)
 - 給排気管が抜けにくい(抜け防止機構が解除されない)場合は、給排気管どうしを一旦奥まで差し込んでからストッパーピースを引いてください。

延長給排気工事の限界

- 延長工事部品は、必ず当社純正品を使用してください。
 - 給排気管の長さは3m以下、曲がりは3箇所以下にしてください。
 - 標準給排気セット以外にも部屋の条件によって、給排気管を延長して取り付けることができます。ただし、延長限界は3m以下で曲がり3箇所以下です。
- 高層建築の集合煙突を利用した給排気は、火災予防上危険ですから、絶対におこなわないでください。
- 集合煙突利用の禁止**
- 給排気管およびトップの再利用時の注意**
- 古い給排気管およびトップは使用しないでください。

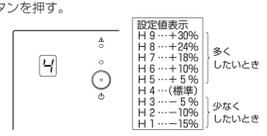
4 試運転

- 試運転は、ご使用者と一緒に必ずおこなってください。
- 試運転の準備
- 同梱のペレット燃料を製品の燃料タンクへ投入してください。
※投入の際はタンク内の燃料吸込口付近に入れてください。
●取扱説明書に従って、運転準備、運転、消火の手順の試運転をおこなってください。
※燃料タンク扉を開けたまま運転すると、しばらくしてエラー停止します。
- お願い**
- ストーブの据付け工事が終わりましたら、必ず試運転をおこない、使用者に運転方法はもちろんのこと、日常的点検・手入れの方法、定期点検、故障・異常時の処置方法、連絡先等をお教え願います。
 - 同梱の「取扱説明書」と共に工事終了後はこの「工事説明書」をお客様にお渡し願います。



5 火力の調整方法

- (設置条件やご使用燃料の種類によって、火力が大きくなったり、小さくなったりすることがあります。)
- 正しく調整されないと、過熱防止装置作動や最大燃焼の炎が大きすぎたり、小さすぎたりする場合は以下の方法で火力を調整してください。
- ① 運転中に、ストーブ背面にある燃料供給量調整ボタンを10秒以上長押しする。操作部にあるデジタル表示部に「H」と「数字」が交互に表示されます。※初期設定値(標準)は「H4」です。以前に設定の変更をおこなっている場合は、現在の設定が表示されます。
- ② デジタル表示部に数字が表示中に、燃料供給量調整ボタンを押すことで、数字が4→5→6→7→8→9→1→2→3→4…の順に切り替わります。表を自由に設定を切替えたのち、必ず炎の状態を確認してください。これで設定の変更は終了です。操作終了の約1分後に表示が消えますが、炎の状態が良くない場合は再調整をおこなってください。

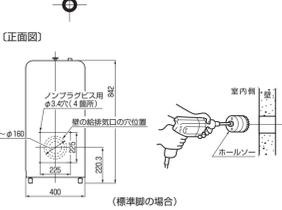


6 廃棄するときの注意

ストーブを廃棄するときは、必ず燃料タンクの燃料を抜いてください。リサイクルの支障となります。

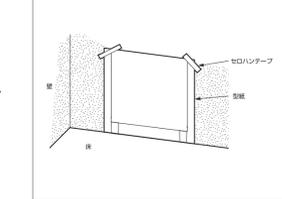
給排気管およびトップの取付け

- お願い**
- 壁内の鉄筋・鉄骨・電気配線・水道の配管を充分考慮してください。
 - 標準セットの対応壁厚は110~200mmです。さらに別売部材を使用することで壁の厚さは450mmまで対応可能です。110mm未満、または200mm以上450mm以下の場合は当社へご相談ください。
 - 取付けの際はケガをしないように手袋をはめておこなってください。
- 給排気管およびトップの取付け、本体の固定方法は、本紙を良くお読みください。
- 設置場所を決めてください。
- 給排気管を通す壁の穴位置を決めてください。
- ※室外立ち上げおよび直抜きで機器背面から直接背面側の壁穴を通す場合は、本紙の型紙を使用して穴位置を決めてください。
- 壁に壁貫通部材取付用の穴(φ150~φ160)を水平にあけてください。



型紙のご使用方法

1. 型紙の床面を床に合わせて壁に貼り付ける。
2. 穴あけ位置に給排気管の取付け穴をあける。



高地でご利用される場合

- 販売店または当社へお問い合わせください。
- 注意 ●高地(標高800m以上)では酸素濃度が薄いため異常燃焼を起こすおそれがあります。標高800m以上で使用する場合は販売店または当社までお問い合わせください。

